”農地・水・環境保全”
水土里のネットワーク通信

〈 第 45 号 〉
２０１１．７．１発行
島根県農地･水･環境保全協議会

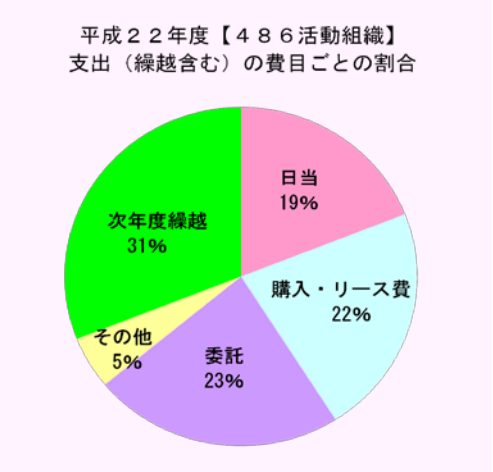
最後の年を計画的に！！

【平成２２年度の実施状況報告が終わりました】

活動組織の皆さん、年度末から４月初旬にかけての「平成２２年度実施状況報告書及び調書」の作成お疲れ様でした。

協議会では、各活動組織から市町村へ提出された「実施状況報告書及び調書」を取りまとめ国へ報告いたしました。報告書作成も４年目を迎えると、各活動組織で色々工夫されて書類の整理も軌道にのってきたように感じました。

実践された活動についても、本事業をきっかけに始められた活動を継続的に取組まれたり、計画的に繰り越しされていた交付金を活用しての補修などが見受けられました。



平成２２年度の支出の割合は左表のとおりです。

一概にはいえませんが、購入・リース費の割合が支出の約３割であることから、活動組織自らが資材調達や機械をリースし、自主施工で活動をしていることが推測できます。

また、平成２３年度への繰越額は３１％となっていますが、これは昨年度と比べ５％減少しています。昨年度の「確認・相談会」で最終年度に向けて交付金を有意義に活用してもらうよう話し合いをした成果が見えているのではないでしょうか。

【７月から相談会が始まります！】

今月から、市町村ごとに繰越率の高い組織や向上活動に取組まれる組織を中心に抽出させていただき、県内を巡回する予定です。

この「活動計画相談会」では、共同活動では最終年度においての交付金の使用目的や活動計画を、向上活動では全体計画や今年度の実施計画をお聞きします。その際には、今年度の活動計画の一覧表と計画位置を示した図面をご持参ください。

活動事例紹介

神代（こうじろ）未来予想図

神代環境保全の会（雲南市）

【こうじろ2020年地図】
許可無く複製を禁じます。ただし趣旨に賛同される皆さんを除きます。
制作・著作『神代いきいき２１世紀委員会』島根県雲南市三刀屋町神代

神代(こうじろ)地区は、島根県雲南市三刀屋町の南部、標高 250mの谷あい 1.5ｋmに広がる中山間地域にあります。

奥出雲の豊かな自然ときれいな水の環境の中で、私たちは、水稲・そば・大豆・野菜・とうがらし等の適地適作に努め、農地の計画的有効活用を図り、遊休地のない農業を行っています。

特に農事組合法人「フレッシュファームこうじろ」を設立し、手作りと地元産原料使用を基本とした味噌・梅加工品・餅などの生産･販売なども行っています。

また、田植え・稲刈り作業を体験してもらう「ふれあい体験農業」等のイベントの開催などにより、都市の消費者との交流も積極的に展開してきました。

私たちは、“こうじろ２０２０年地図”を夢に描きながら、新たな取り組みを企画中です。その際には、ぜひとも神代へお越しください。

お待ちしています、　　神代環境保全の会

この絵を見た時に、ここは何処（どこ）！？楽しそう！！行ってみたい！！とすぐに思いました。よく見ると、９年先・・・皆さんの活動がこの予想図のひとつひとつのパーツとなり、神代の未来へつながっていくと信じています。

ヒメイワダレソウの花が咲き出しました

平成２２年９月に「カバープランツ研修」で実践植栽を行った、中古志環境保全協議会（松江市）と富山農地・水保全協議会（大田市）の現在の様子と代表の方のお話を紹介します。

【中古志（なかこし）環境保全協議会（松江市）】

開花したヒメイワダレソウ
（H23.6.月時点）

モグラ被害で枯れた苗
（H22.11.月時点）

植栽後の管理について教えてください。

月１回の草取りや、雨のない日が続くと夕方に散水をたっぷりと行いました。

また、半年後には枯れた箇所の補植を行いました。

カバープランツを施工して良かったと思うことは。

花が綺麗で可愛らしく、雑草も生えにくいことです。

失敗した、工夫が必要だと思われたことは。

モグラに根を食われ枯れた箇所があり、モグラ対策が必要！！と感じました。モグラを寄せ付けない薬剤を散布しています。

また、定植後に散水を怠ると枯れやすく、完全に定着するまで雨が少ないと思ったらこまめに散水が必要でした。

活動組織の皆さんの反響はどうでしょう。

まだ少人数で手入れをしている状況です。多くの方に「地域の環境」に関心を持ってもらうよう、ＰＲがもう少し必要だと感じています。

今後の予定は

カバープランツの施工箇所を少しずつ広げ、雑草対策と同時に「環境にやさしい農業」を目指したいと思います。

【富山（とみやま）農地・水保全協議会（大田市）】

広がり出したヒメイワダレソウ
（H23.6 月時点）

シートの折り返しがもどり苗の生長の邪魔に。（H22.10 月時点）

植栽後の管理を教えてください。

１０月に補植を、３月に草取りを行いました。

失敗した、工夫が必要だと思われたことは。

Ｔ字にカットし植栽しましたが、シートを折り込んだ部分がもどり、苗が押さえられ生長の妨げになりました。また、シートを２枚上下に重ね施工していますが、下側のシートを上に重ねてしまったことにより土が溜まりやすく雑草が生えるので、次回から気をつけたいと思っています。

活動組織の皆さんの反響はどうでしょう。

賛否はまちまちですが、センチピードグラスの吹き付けをして草刈りをした方が楽なのではという意見もありました。

今後の予定は。

６月の上旬に２箇所でカバープランツを実施しています。

ヒメイワダレソウの可愛いらしい花が広がるように、地域の皆さんにも環境についての関心が広がっていくと良いですね。ヒメイワダレソウは、これからどんどん元気になって行きます。いましばらく活動組織の皆さんは草取りを頑張ってください！！

★お知らせ★

平成 23 年度から事業名が「農地･水保全管理支払交付金」に変更となったことにより、各種様式が変更になっています。協議会ホームページでダウンロードしてお使いください。また向上活動の様式も更新していますので、最新の様式をお使いください。

★今月の予定★

３（日）	ルーラル・ミーティング in しまね（出雲市）	７（木）８（金）	飯南町　活動計画相談会
１２（火）	東出雲町　活動計画相談会		

ちょっと一息
おたよりコーナー

子供たちに伝える「ホタルの生息するふるさと」
はざ農村資源を守る会（浜田市金城町）

去年の「波佐ほたる祭り」の様子

私たちの地域では、ふるさとを愛しホタルの生息できる環境づくりを目指し、ホタルの産卵時期を外した草刈りなど水質や生態系の保全に取り組んでいます。

ホタルは清流の中で、しかも限られた条件下でしか育ちません。「はざ農村資源を守る会」では次世代を担う子供たちに、生き物の棲む環境や生態を勉強し、生き物を育む農村環境に目を向けてもらうため、地元小学校での出前講座を行っています。

ホタルの一生は短いですが、その一瞬の光が私たちの気持ちを豊かにしてくれます。これからもホタルの舞う環境づくりを続けていってくださいね。

【投稿規定】
郵便番号、住所、氏名、電話番号、組織の方ならば活動組織名を明記。
郵便、ファックス、メール、電話での投稿。次号への掲載は、前月２０日ころまでに必着。
宛先は、〒690-0876 松江市黒田町 432-1　水土里ネット島根「おたよりコーナー」係。
FAX 番号（0852）24-0848、電子メール shigenhozen@shimanedoren.or.jp

～担当者の声～

今年の梅雨入りは例年より２週間以上早く、６月に入ってからも長袖でちょうどいいような毎日でした。農家にとって気温や日照時間は農作物の出来に大きく関係してきます。水稲の株張りや病気など収量に影響してくるので厄介ですね。雨の日が続いた分、今年は草の量も伸び方もすごいような！それと今年は竹がすごく多く生えると思うのは私だけでしょうか。これから夏本番を迎え穂出の時期まであと少し、夏バテしないよう暑さを乗り切りましょう。
（協議会：家に帰れば農業者 K）

～農地・水・保全管理支払交付金に関することは！～

◆島根県農地・水・環境保全協議会まで
〔事務局〕水土里ネット島根　Tel 0852-32-4144　Fax 0852-24-0848
http://www.nouchimizu-shimane.jp
◆島根県農林水産部農村整備課資源保全スタッフ（共同活動）　Tel 0852-22-6262
〃　農畜産振興課有機農業グループ（営農活動）　Tel 0852-22-6477
http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/nougyo/kojo_taisaku/
◆又は県内各農林振興センター、最寄りの各市町村担当課までお問合わせ下さい。

猪尾・大崎はつらつ保全組合
（雲南市）